許可後～完了までの手続について

【留意点】令和7年5月26日に静岡県盛土等による環境の汚染の防止に関する条例（盛土環境条例）が施行されます。
施行日以後、提出様式が変わり、一部について新しい様式で提出していただく必要があります。

時期	手続の内容	補足	旧条例手引き (第5版) 掲載ページ	
許可後～ 着手まで	土地所有者への通知	「許可証」、「盛土等許可申請書（様式第1号）」、「申請書の添付資料」の写しを交付	P34	
	標識の掲示	縦90cm、横120cm以上 (掲示内容は手引きのP36参照)	P35～36	
	境界標の設置	盛土等区域の境界に木杭やプラ杭等を設置	P37	
	着手届（様式第12号）の提出	・盛土等または盛土等の用に供する施設（調整池、擁壁、排水施設等）に着手した日から 10日以内 に提出 ・各工種や定期調査等の実施時期を記載した計画工程表を添付する	P48	
土砂等の 搬入前	【令和7年5月25日まで】 <旧様式>土砂等搬入報告書(旧様式第14号)を提出 【令和7年5月26日以降】 <新様式>土石等搬入報告書(新様式第5号)<新様式>を提出 ※同一事業区域外からの土砂等の搬入が無ければ提出不要	・土砂等を搬入する前に「土砂等発生元証明書（～5/25：旧様式第13号、5/26：～新様式第4号）」、「搬入土砂等に汚染が無いことの確認に用いた資料※」にて汚染のおそれの無いことを確認 ※「土地の利用状況等の調査結果」、「土壌分析調査の結果」、「採石法・砂利採取法の認可書」、「再生資源利用促進計画」のいずれか必要なもの	P38～P47、 P58	
施工中	【一時堆積以外の場合】 <旧様式>土砂等管理台帳（旧様式第15号（その1：搬入用））の作成 【一時堆積の場合】 <旧様式>土砂等管理台帳（旧様式第15号（その1：搬入用））及び <旧様式>土砂等管理台帳（旧様式第15号（その2：搬出用））の作成	【一時堆積以外の場合】 毎月末までに1日当たりの搬入量・車両台数を記載 【一時堆積の場合】 毎月末までに1日当たりの搬入量及び搬出量・車両台数を記載	P49～50	
定期	【一時堆積以外の場合】 ・<旧様式>土砂等使用量報告書（旧様式第16号）の提出 【一時堆積の場合】 <旧様式>土砂等搬入量及び搬出量報告書（新様式第17号）の提出	・「土砂等管理台帳(旧様式第15号)」の写しを添付 ・4月～9月分：10月末、10月～3月分：4月末に提出 （残土処分に係る事業の場合のみ） ・盛土等の転圧状況の写真を添付 ・盛土等の転圧状況の写真については、一層当たり30cm未満の厚さで適切に転圧を行っている写真を添付する ※管理測点の頻度は施工延長40mごとに1測点とし、施工延長が40m未満の場合においては施工箇所につき2測点程度とする	P51、P58	
着手から 6ヶ月毎	<新様式> 水質調査報告書（新様式第7号）の提出（※1）	開発型盛土：－（※2,3） ----- 処分型盛土：○	「試料を採取した地点を示した位置図」、「現場の写真」、「計量証明書」を添付	P52～54、P58
	<新様式> 土壌汚染状況調査報告書（新様式第8号）の提出	開発型盛土：－（※2,3） ----- 処分型盛土：○	※完了時の水質及び土壌調査は完了予定日の1か月前から採水、採取可（完了日より前に調査した場合は調査時点の出来高が分かる図面を添付）	P52、P55～58

※詳細については申請等の手引きを参照

※各書類2部提出してください。

(※1) 水質調査は、盛土等を行おうとする区域内の流水や湧水を排除するために、盛土条例の構造基準に基づき設置される地下水排除工（暗渠工等）から採水できる場合のみ実施。（地表面の雨水の集水による水質調査は不要。）
なお、水質調査を実施する場合は、定期報告や完了の前1か月以内にできるだけ排水が多く流れているとき（降雨後等）に試料を採取。

(※2) 開発型盛土：都市計画法第4条第12項の「開発行為」に該当する盛土等：宅地・工場用途の造成など
処分型盛土：「開発型盛土」「土石の堆積」「埋立て」以外

(※3) 開発型盛土であって、土石の搬入前までに汚染のおそれのないことを県が確認出来た場合には、これを不要とする。